

橘中学校2年2組

安全で楽しい街

事故がほとんどなくていつも街が綺麗になっていて食料はい棄が少なくみんな健康である街。人が困っていたりしたら他人事ではなく助けたりできる街。みんなが仲良く毎日楽しく笑っている街。

若者の街 in 小田原

昔の建物や風景がSNSなどで流行って若い子たちの興味をひき高齢化がなくなる。和菓子が人気になって小田原駅周辺が今の東京駅と同じくらい栄え、神奈川といえば小田原といわれるようになる。

都市化

小田原では都市化がはじまり、ところどころで高い構造物が増えたり、大きな遊園地なども増えて、観光業が盛んになる。そして全体的に人口が増えて、とても活気のある街になる。

ゴミのない街

一人一人が、自分が出したゴミを責任をもって捨てて、ポイ捨てなどが全くない街。海岸清掃だけでなく、街のゴミをみんなで取る日も決め、いつでもきれいな環境にする。ゴミが全くなり、みんなが過ごしやすい、良い雰囲気のある街。

防災

日本では地震が多いです。小田原は海が近いので津波の危険があります。なのでみんなが災害がいつ起きてもどうするべきかが分かっている状態にしたいです。また、地域の人とコミュニケーションをとれるようにしてみんなが防災したいです。

これが俺たちの小田原！！

歴史的な建物を残しつつ、漁業や農業がさかんな街。このため、観光客や小田原に住む人が増えてとても明るくて有名な街になってほしい。また山などの自然も大切にしてSDGsなどもできる未来への希望があるようになってほしい。

女性がもっと働きやすい街

「良い職」が見つからず、困っている女性がいます。女性が働きやすい環境。例えば、子育てとの両立ができる時間帯に働ける、そんな環境が、必要としている人に届く、皆が暮らしやすい、皆の街、小田原になって欲しいです。

ポッカポッカ 小田原温泉 岩盤浴付き！！

小田原には、温泉があまり無いので箱根温泉に負けないくらいすごく、温泉だけではなく岩盤浴を付ける事によって肩の疲れなどを無くしてサウナや温泉に気持ち良く入ってもらう事で小田原の温泉は全国でも、有名になると思います。

人がいっぱい訪れる町「小田原」

小田原には観光客がたくさん訪れるスポットがあります。そこは、小田原城です。そこでいろんな地方から来る人たちが行きやすいように小田原城周辺に高速道路を整備したり、小田原駅から小田原城までいける路線バスなど交通に便利な町。

健康第一の街

健康は、ささいな事でも心配になるから、気軽に行ける病院があることで安心できるし、広い公共の運動場や大きな体育館があると好きなスポーツもできるし子供から大人の人が使うようになるから、運動不足がへってみんな健康な街になる。

私が考える30年後の小田原

交通整備がされていて無人の移動販売車が地域を回って色々な人が気軽に買い物ができる。そしてみんなが地震や津波に対して防災をしていて小田原市の色々な場所に、津波、土砂くずれのための避難用に塔ができています。

～火災についての人々の理解～

冬や春の時期に多い火災。火災を防ぐためにはストーブの使用やコンロの消し忘れに注意すること。火災についてを多くの人々がより理解を深め火災がおきてしまった時にはあせらずに行動するということが自分自身の命を守ることにつながる。

活気づく小田原

小田原は観光できる物があまり多くないと思うので、他の場所の人が小田原にこよようと思うような観光施設か食べもの、他には自然をいかしたアトラクション系など小田原市が活気づくような物であふれる街。

差別のない小田原市

みんなの仲が良く、差別のない町を作る。一人一人が相手の気持ちを理解するためのフェスティバルを月に一回開いて、相手の事を知っていく。このような場所があればみんなの仲が良い、楽しい町になっていくと思う。

2030年の道路

道路がきれいになっている。地震で地面が割れて人が歩いている時にころんでけがをしないようになっている。信号機を増やして車がよく通る場所は全然通れないから信号機をつけて誰でも安全にらせるような街になっている。

地域の方の支えに

みんなが地域のボランティア活動に参加する街。特に農家の方の手伝いをしたいと思った。今は高齢化がすすんでいるため若い人が少ない。その分高齢の方の負担になるので若者が地域の農家の仕事を行う。そうすることで地域の交流も増える。

小田原ってキレイだったの！！

今まで以上に、ごみの管理をしっかりし、町が整備されることで、みんなの、行動などが変わってほしいです。それによって小田原市以外にもキレイに清潔にいい町になり小田原が手本となりよりよい街になっていくことをねがう。

小田原のよさを生かす

小田原にある多くの自然を生かし、小田原の魅力を知ってもらえるといい。具体的には、季節の果物や野菜を収穫できたり、小田原に生息している動物とふれあえる施設を設ければいいと思った。そこに、公園、図書館があると気軽に寄りやすい。

橘中学校2年2組

ゴミ拾い

時々、タバコなどが捨ててあるのをみかけるから、「ポイ捨て禁止」のポスターをつくったり、ゴミ拾いをするボランティアをつくったりして、小田原だけではなく、地球問題である地球温暖化を少しでも防ぐためにゴミを減らしていける街。

夢の小田原

常に図書館や美術館が開かれているなど市民が簡単に文学と触れ合うことで知識や興味がわき活発な街になる。そうすることで豊かな街がつくられ人も向上していくことにより子孫に受けつがれていく。

新しい町

周りにお店などがあることによって、買い物が楽になったり、人がたくさん来るようになる。それによって、街がどんどん発展し、経済が回しやすくなる。他の地域の人達が小田原に住みたいと思うようになる。

水素で小田原の自然を守る

小田原市は、森林や、畑など、とても自然が豊かな街だ。この自然を守るために、2030年の小田原市では、水素で走る自動車が義務づけられ、ガソリンスタンドも、水素ステーションに変わっていく、環境にやさしい街になっていくだろう。

魅力いっぱいの街に

最先端の技術が開発されていく一方で歴史的な建物や文化が受け継がれ続け、昔の素晴らしさと今の素晴らしさが共にある街になる。それにより、観光客が多く訪れたり地元の人には魅力を再発見しみんなが小田原をもっと好きになる。

どんな人でもくらしやすい小田原

目や足が不自由な方でも安心して外に出られるようになっている。今は、ゴミが落ちていたり道が整備されておらず凸凹がある所があります。なので、未来は地域の人々で協力しゴミ拾いをしたり道の整備がされていて安心安全な街になる。

2030年の優しい小田原の姿

もっと身体障害者の人に優しい町にしてほしいです。私の地域の信号は青になっても音はなりません。もし目の不自由な方がいたらと思うと非常に心配です。どうかまずは、市全体の信号に音声を取り付ける所から着手していただきたいです。

それぞれの

一人一人が自分なりの個性に溢れ、誰もが互いのことを認め合うことができ、なおかつ皆がそれぞれの輝きをもって活動できる、明るく、活気に満ちた、笑顔が溢れんばかりの町となる。